

様式 1

平成 17 年度茨城大学地域連携支援経費申請書

茨城大学長 殿

申請者 所属 地域の教育力プロジェクトリーダー

代表者氏名 尾崎 久記



下記の本年度の地域連携支援経費を申請いたします。

1. プロジェクト名 (40字以内)

地域の教育力向上プロジェクト

2. プロジェクトの連携先と連携内容 (別紙可)

連携先：茨城県教育庁高校教育課、水戸市教育委員会、東海村教育委員会

連携内容：地域の教育力を向上させるため、以下のプロジェクトに重点的に取り組む。

- ① キャンパスエイド活用事業 (連携先：茨城県教育庁高校教育課、県立鹿島灘高校)
平成 17 年度より発足した定時制単位制の鹿島灘高校で展開する大学院生による
学校カウンセリング補助事業を軌道にのせるための支援。(詳細は、別紙①参照)
- ② 茨城大学教育学部キッズ・クラブ (連携先：水戸市教育委員会)
平成 14 年度より大学等開放推進事業として取り組まれてきているが、平成 17 年
度の申請は認可されなかった。しかし、これまで展開してきた実績から期待も大
きく、今年度は地域連携事業の一環として実施したい。(詳細は、別紙②参照)
- ③ 総合型地域スポーツクラブ創生 (連携先：東海村教育委員会)
平成 18 年度に概算要求されている課題と関連して、東海村における総合型地域ス
ポーツクラブを軌道に乗せるための助成を行う。
- ④ 特別支援教育公開セミナー (連携先：茨城県教育委員会)
公開セミナー「特別支援教育における私たちの役割」開催への支援を行う。
- ⑤ 教師のための英語ワークショップ (連携先：水戸市教育委員会)
イースタンワシントン大学より指導者を招聘し、英語特区となっている水戸市立
小学校教員を対象とした小学校英語指導者への研修に支援を行う。

3. 本プロジェクトにかかわるこれまでの経緯・実績 (別紙可)

それぞれの課題についての経緯と実績は次の通り。

- ①については、茨城県教育委員会からの要請により平成 17 年度より開始されている。
- ②については、平成 14～16 年度に大学等開放推進事業の指定を受け、実施しされてきた。
- ③については、平成 18 年度特別教育研究経費 (連携融合事業)「地域社会活性化への貢
献」として概算要求されている事業の一部を先行して実施するものである。
- ④については、平成 16 年度に社会連携事業費の支援を受け 200 名以上の参加者があった。
- ⑤については、平成 16 年度に実施され、好評であった。

4. プロジェクト参加者（含む申請者）

氏 名	学部・学科等	職 名	分 担 内 容
尾崎 久記	教育学部・障害児教育	教 授	全体総括
菅沼 憲治	教育学部・学校臨床心理	教 授	①キャンパスエイド責任者
利安 義雄	教育学部・理科教育	教 授	②キッズクラブ責任者
加藤 敏弘	教育学部・人間環境教育	助教授	③総合型地域スポーツクラブ責任者
松村多美恵	附属養護学校	学校長	④特別支援教育公開セミナー責任者
君塚 淳一	教育学部・英語教育	助教授	⑤教師のための英語ワークショップ 責任者